



《2014年7月23日定例記者会見資料》

# 災害対応救助ロボットの実証実験

## ～ 災害現場における対応能力の開発へ ～

### 1 消防局では、救助ロボットの実証実験を行い、その結果を開発企業へフィードバックします。

消防局では、本年7月末に完成予定となる開発ベースのロボットを、人命救助の専門部隊である高度救助隊が、あらゆる災害現場で必要とされる機能や適合性などを研究し、その成果を開発企業の富士ソフト株式会社へ提供します。

### 2 ロボットの特徴

ロボットの大きさは、長さ（最長）117センチ、幅55センチ、高さ21センチの長方形の箱形の本体に6つのモーターを搭載し、キャタピラを装備しております。

このロボットの特徴は、建物の倒壊現場などの瓦礫の中を自在に走行し、階段を上ることも可能な、高い走行性能を備えています。また、ロボットの操作員は、本体搭載のカメラ、マイク等によりロボット周辺の状況を確認し、有線又は無線で離れた場所から、操作することができます。



この開発ベースのロボットは、東日本大震災で被災した福島第一原発第三建屋内部の破壊状況の調査に、大きく貢献した実績があります。

### 3 みんなの命と財産を守る災害などへの備えを進めよう

我が国は、地震や津波などの自然災害や高層ビル、地下街などで発生する都市災害、さらに生物・化学剤を用いたテロなどの脅威が指摘されています。消防隊員では活動が困難な災害現場で、隊員の活動を補助し、また隊員に代えて、ロボットを活用することで、災害活動の効率化と安全性の向上が期待できます。

### 4 安全な暮らしを実感できる湘南の元気都市を目指し、藤沢市総合防災訓練でデモを実施！

本年8月30日に開催予定の藤沢市総合防災訓練において、会場内にブースを設け、救助ロボットの紹介と開発協力への取組みについて、広く市民のみなさんにお知らせしてまいりたいと考えております。

本市では、今後とも、地震、津波対策、風水害、都市災害への対策に総合的に取組み、市民の生命と財産を守り、市民の皆さんが、不安がなく、安全な暮らしを実感できる湘南の元気都市を目指してまいります。